

Topics

～産業振興を基軸として、SDGs への取組を強力に推進～

墨田区が「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に選定されました

墨田区が 2021 年度「SDGs 未来都市」として選定されました。また、「SDGs 未来都市」の中でも、特に先導的な取組として毎年度 10 都市のみ選定される「自治体 SDGs モデル事業」にも選定されました。



選定制度については
こちら（内閣官
房・内閣府 HP）

2021 年度に、東京都内でダブル選定を受けた都市は、墨田区のみです。

今後、両方で選定された先進的な自治体として、他都市の模範となるよう、一層の取組促進を図り、国内の SDGs 推進をけん引していきます。

今回、墨田区が提案した SDGs モデル事業「産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市～ものづくりによる『暮らし』のアップデート～」

は、社会課題の解決に取り組むスタートアップ企業（ ）を区内に誘引し、区内企業との連携を図ることで、医療や環境、高齢化といった地域の課題解決に役立つ試作品を開発し、社会実験として地域で活用していく、という内容です。これは、ものづくりのまちとして発展し、多種多様な産業が集積しているという地域の特性を、現在の社会に当てはめて再構成したものです。

ここで言うスタートアップ企業とは、新しいアイデアをもって新しい価値やイノベーションを生み出し、社会に貢献することにより短期的な成長を目指す企業のことを指します。

・スタートアップ企業と区内企業との連携による
技術・製品開発
・社会実験として地域での活用
・地域と企業とのコミュニケーション促進

・社会課題解決と地域内
経済循環の促進
・持続可能なまちの実現



SDGs に関する特集は 4 ページへ

このモデル事業により、地域課題解決につながる技術や製品を生み出すことで、さらに豊かで持続可能な生活の実現につなげます。

また、このモデル事業を核として、リスクを恐れず新たな課題に挑戦し続ける地域の「人」たちを強力に後押ししていきます。

「SDGs 未来都市・自治体 SDGs モデル事業」への選定を機に、今後、区では、SDGs 推進を牽引する代表都市という自覚を新たにし、産業振興を基軸として、持続可能で幸せなまちづくりを着実に進めていきます。

墨田区の業況

< 今期 来期予想 >

製造



卸売



小売



サービス



建設



不動産



詳細は 10 ページへ

PICK UP 企業 (2021 年 1 月～3 月)

注目の区内企業を取材し、毎月 1、2 社ホームページ上で紹介しています。

1～3 月に紹介した企業はありませんでした。

ホームページには、過去の取材記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。



掲載ページはこちら

職員取材日記 📷 ダイジェスト

- 【すみだの宿】宿泊施設の紹介第四弾「第一ホテル両国」
(2020年11月13日掲載) 実際に掲載された記事を一部編集して掲載しています。

～徹底した感染防止対策と多彩な宿泊プランでおもてなし～

【すみだの宿】第一ホテル両国



【受付での新型コロナウイルス感染症防止対策】

第一ホテル両国では、安心してお客様に利用してもらうため、小さなお子様も含め来館したお客様には、必ず検温、手指アルコール消毒及びマスクの着用への協力をお願いしているとのお話でした。

また、宿泊のお客様には、体調管理チェックシートの記入をお願いしていました。

さらに、ソーシャルディスタンスを確保するため、目印として床に足マークを設置していました。



受付で手指アルコール消毒・検温を実施



足マークでソーシャルディスタンスを確保



客室では消毒や換気を徹底

【エレベーターや客室等の徹底した衛生管理】

第一ホテル両国は、令和2年5月に1か月間休業していました。その期間にどんなコロナ対策が有効かを徹底的に検討し、現在実施しているとのことでした。

多くの方が利用するカウンターやエレベーターの消毒には特に気を遣っており、決まった時間に消毒を行っていました。また、共同で使用するペンは使う度に消毒し、客室では消毒や換気を行い、衛生管理を徹底しているそうです。

【新常態への対応（令和2年10月時点）】

第一ホテル両国では、コロナ禍がもたらした新常態におけるお客様の新たなニーズに対応したプランを販売するなどの試みを行っていました（令和2年10月時点）。

ソーシャルディスタンスを考慮したミーティングプランを用意しており、大宴会場、中宴会場、小宴会場等といった収容人数の異なる部屋を、人数・用途に合わせて利用することができます。



最大収容人数400人の大宴会場「清澄」



ちゃんこ鍋膳（イメージ）

【幅広いニーズに対応した多彩な宿泊プラン】

テレビでも紹介された、両国ならではのちゃんこ鍋膳を楽しめる一泊二食付きプランをはじめ、部屋で午後のティータイムを安心して楽しめるインルームアフタヌーンティープランなど、幅広いニーズに対応した多彩な宿泊プランが用意されています。掲載しきれなかったプランの中には、期間限定のものもありますので、ぜひ公式ホームページをチェックしてみてください。いかがでしょうか。

【取材先情報】

第一ホテル両国
墨田区横網 1-6-1

第一ホテル両国の公式ホームページはこちら



【特集】産業を軸としたSDGsの推進



墨田区が2021年度「SDGs 未来都市」として選定され、その中でも特に先導的な取組として毎年度10都市のみ選定される「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。

この特集ページでは、墨田区の提案した自治体SDGsモデル事業「産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市～ものづくりによる『暮らし』のアップデート～」を中心として、SDGsに関する内容についてお伝えします！

墨田区の提案内容（自治体SDGsモデル事業）

産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市 ～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～

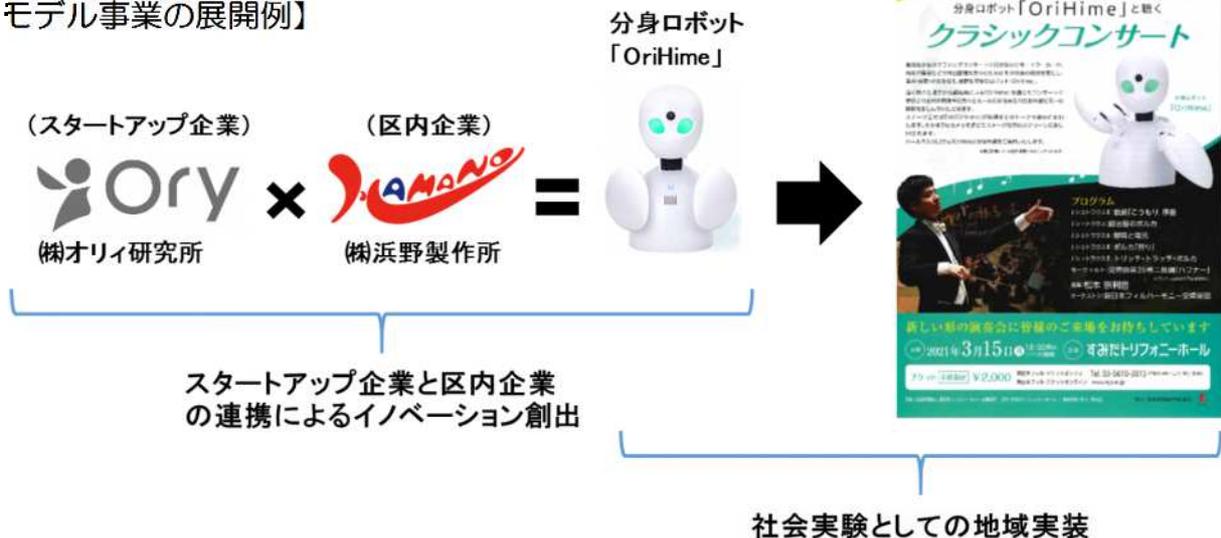
医療・環境・高齢化などの地域課題に応じて、スタートアップ企業と区内企業との連携によりハードウェアを開発し、社会実験として地域で活用していきます。

その過程における、地域と企業とのコミュニケーションを通し、暮らしや仕組みの中に「モノ」を埋め込み、社会課題解決と地域内経済循環を促すことで、持続可能なまちを実現していきます。

統合的取組として、「ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業」を展開していきます。地域の特色を生かした「区内企業とスタートアップ企業が連携し、先端技術を生み出す新たな産業集積地」整備とすることで、プロトタイプ()を開発するとともに、その積極的活用により社会課題解決を促し、SDGs意識の高い事業者を核とした活発な交流による意識の高揚を図っていきます。

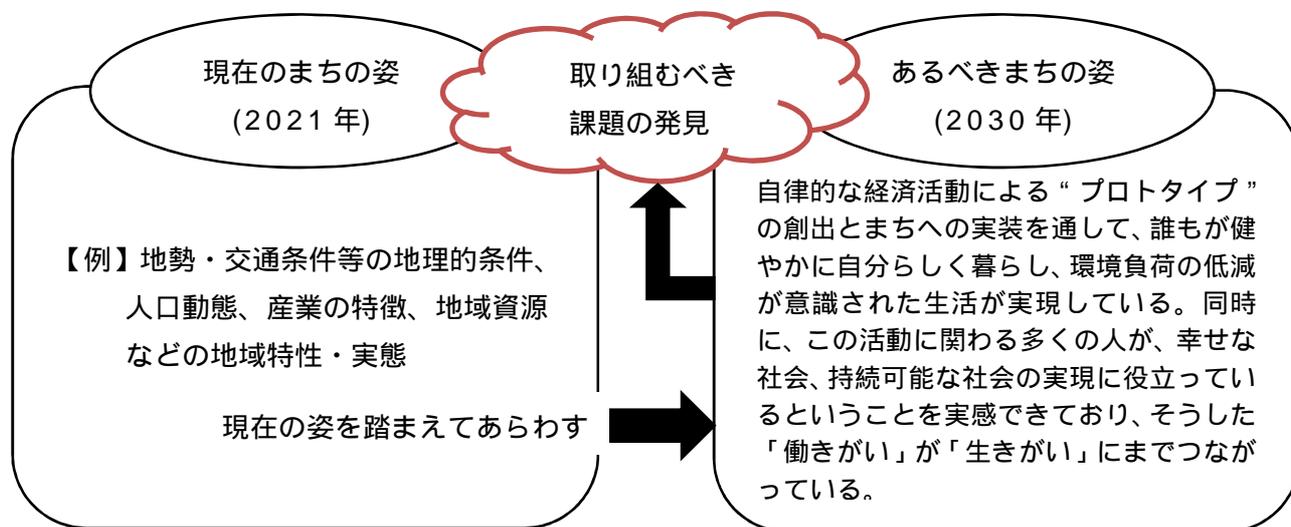
プロトタイプ：一般的には、量産・普及する前の試作段階にある製品・プログラムを指す言葉ですが、本提案においては、これに技術やサービスを含めたものと定義しています。

【モデル事業の展開例】



2030年までに実現を目指す、あるべきまちの姿

提案にあたっては、まず「望ましい未来の姿」を描き、その実現のために取り組むべき課題を浮き彫りにする、「バックキャストिंग」という思考法によって内容をまとめました。



自治体 SDGs モデル事業をコアとして取り組む、産業振興を基軸とする SDGs 推進では、リスクを恐れず新たな課題に挑戦し続ける地域の「人」たちの後押しを強力に進め、この成果を健康増進や環境配慮型社会の実現へと結びつけることで、2030年までに実現を目指す、あるべきまちの姿を形作っていきます。

(参考) SDGs と企業との関係

SDGs に取り組むことは、取り組まないことによる企業イメージの低下や信頼性の喪失といったリスクを防ぐことにつながります。また、現在の社会と2030年までに実現を目指す持続可能な社会との間にギャップがあるということは、そこにビジネスチャンスが生まれる可能性があることを意味しています。

もちろん、実態がないにもかかわらず、SDGs に取り組んでいるように見せかけること、本気で取り組むつもりがないにも関わらず、事業内容とSDGsの17ゴールを無理やり関連付けること、現状の取組を大げさに誇張する形でSDGsの取組としてPRすることなど、ごまかし、偽りの行動は、「SDGsウォッシュ」と呼ばれ、逆に企業イメージの低下や信頼性の喪失につながってしまいます。あらかじめ中長期的な計画を立てておくことで、そうした事態を避けることができます。

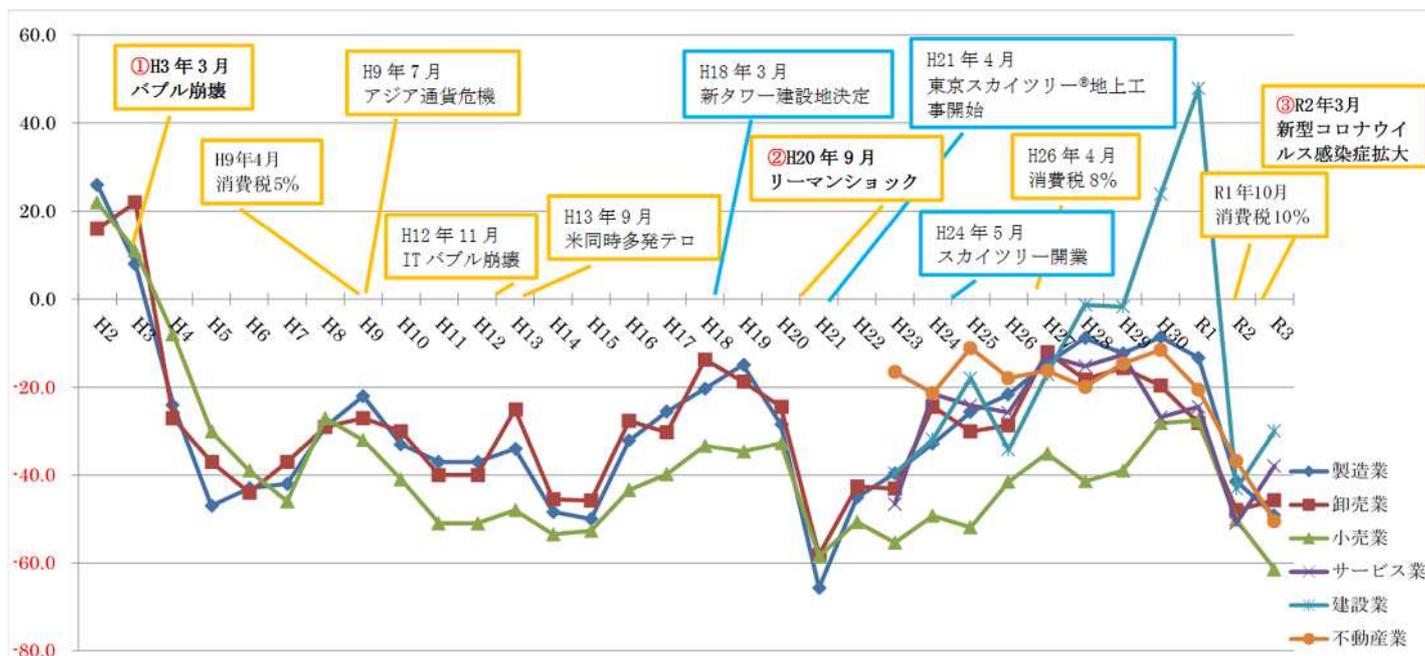
新しいことを恐れず、自分なりの方法で少しずつ着実に実行することが大切です。

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を期限とした国際社会全体における開発目標で、地球上の誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決しようとするものです。17ゴール・169ターゲット・232指標で構成されています。

すみだの産業を斬る

区内産業が置かれている現状の把握のためには客観的な指標であるデータの収集・分析が極めて重要です。産業観光部全職員が、産業・観光に関するデータを“1人1データ”収集し、それぞれの視点からすみだの産業について分析したデータを紹介します。

墨田区の業況推移（平成2年度から令和2年度まで）



景況れぼうとすみだ、すみだ産業情報レポートに掲載した過去データを編集して掲載

平成22年度以前は、製造業・卸売業・小売業の3業種のみデータ収集を行っていたため、サービス業・建設業・不動産業はデータなし

令和3年度のデータは予想値（本紙10～11ページに掲載）

今回は、過去に「景況れぼうとすみだ」や、「すみだ産業情報レポート」に掲載した区内景況データや、経済に大きな影響をあたえた主な出来事も踏まえて、墨田区の業況推移について分析しました。

グラフの傾きに注目すると、バブル崩壊直後（平成3年度～6年度）、リーマンショック直後（平成20年度～21年度）、新型コロナウイルス感染症流行直後（令和2年度～）に、多くの業種において特に傾きが大きくなっており、景況感が著しく悪化していることがわかります。また、やにより景況感が著しく悪化する直前までは、景況感は改善と悪化を繰り返しながらも徐々に改善し、DI値がプラスマイナスゼロに近づいていました。

においては、グラフの傾きから特に建設業について景況感が著しく悪化していることがわかります。東京オリンピック・パラリンピックの開催決定（平成25年9月）後、他業種と比較して急激に業況が改善していましたが、令和2年度には一転して他業種と同様に低迷しています。

令和2年度と3年度で、4～6月期のDI値（3年度は予想値）を比較してみると、どの業種も厳しさが見て取れるものの、特に小売業や不動産業について景況感の悪化が見られました。

すみサポ コラム

「採択事業者の約 98%が客数増加を実感した」と回答している（ 1 ）持続化補助金の公募が今年も始まっています。正式名称は小規模事業者持続化補助金と言い、小規模事業者等の方が販路開拓を目指すために幅広く活用できる補助金です。

今年度は、通常の持続化補助金「一般型」に加えて、補助額、補助率が高い「低感染リスク型ビジネス枠」がありますので、分けてご紹介します。

	一般型	低感染リスク型ビジネス枠
補助額	上限 50 万円	上限 100 万円
補助率	2 / 3	3 / 4
補助対象概要	販路拡大等の取組を支援	ポストコロナ社会に対応したビジネスモデルの転換に資する取組を支援
補助対象具体例	<ul style="list-style-type: none"> ● 店舗改装 ● チラシ作成 ● 広告掲載など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 対人接触機会の減少を目的としたテイクアウトなど導入 ● EC サイト構築 ● 上記に関連した店舗改装、チラシ作成、広告掲載など
感染予防対策費（ 2 ）の支援	なし	あり
今後の受付締切スケジュール	2021 年 10 月 1 日（金） 2022 年 2 月 4 日（金）	2021 年 7 月 7 日（水）、9 月 8 日（水）、11 月 10 日（水） 2022 年 1 月 12 日（水）、3 月 9 日（水）
提出方法	「書類郵送」または、「J グランツによる電子申請」	J グランツ（ 3 ）による電子申請のみ
事務局連絡先	 03-6747-4602	 03-6731-9325

1 持続化補助金のパンフレットに記載されている内容から、表現を一部省略して記載

2 感染予防対策費（消毒液購入、換気扇設備導入等）の一部を支援

3 J グランツによる電子申請には、事前の ID 取得が必要です。

ID 取得には 4 週間ほど必要なため事前の取得をお勧めします。

すみだビジネスサポートセンター（すみサポ）では、「持続化補助金」

に関するさまざまなサポートを無料で行っています。申請を検討されている方や、詳細を知りたい方は、「すみサポ」にぜひご一報ください。（ご相談は、予約制となっています）

すみサポ お問い合わせ先 03 - 5608 - 6360



墨田区新型コロナウイルス感染症緊急対策資金利用者へのヒアリング調査（概要）

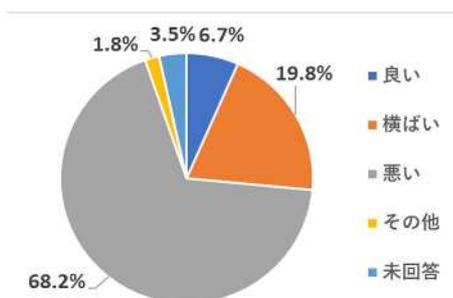
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている中で、区内企業の現況を把握するため、令和2年3月から実施している新型コロナウイルス感染症緊急対策資金の利用者を対象に、ヒアリング調査を実施しました。

- 1 調査実施日
令和3年3月1日～令和3年3月26日
- 2 調査方法
電話での聞き取り調査
- 3 回答結果
対象者数 1,574件
有効回答件数 827件（回答率 52.5%）
- 4 調査結果

直近3か月の売上の動向

良い	55件	6.9%
横ばい	164件	20.5%
悪い	564件	70.7%
その他	15件	1.9%
無回答	29件	-
合計	827件	100.0%

割合は「無回答」を除いて算出した数値



「悪い」と答えた企業が約7割、「良い」と答えた企業は1割に満たない数字となっており、厳しい経営状況が続いている。

今後3か月の資金繰りの状況

借換	68件	11.4%
追加融資	150件	25.2%
廃業検討	7件	1.2%
その他	371件	62.2%
無回答	231件	—
合計	827件	100.0%

割合は「無回答」を除いて算出した数値



「追加融資」（18.1%）や「借換」（8.2%）を予定している事業者がいる一方、「その他」（44.9%）の中では、「なんとか対応している」（全体の56.0%）という意見も見られた。

コロナ融資の資金使途（複数回答）

商品、材料等仕入れ	266件	32.2%
買掛金等決済	48件	5.8%
人件費等	273件	33.0%
固定費等	148件	17.9%
使わずに置いている	104件	12.6%
その他	119件	14.4%
合計	958件	115.9%

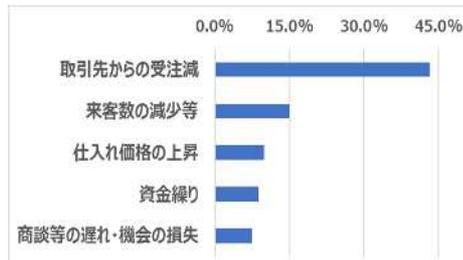


「人件費等」（33.0%）や「商品・材料等仕入れ」（32.2%）が多くなっている。

経営上の課題・影響（複数回答）

取引先からの受注減	358 件	43.3%
来客数の減少等	124 件	15.0%
仕入れ価格の上昇	82 件	9.9%
資金繰り	73 件	8.8%
商談等の遅れ・機会の損失	62 件	7.5%

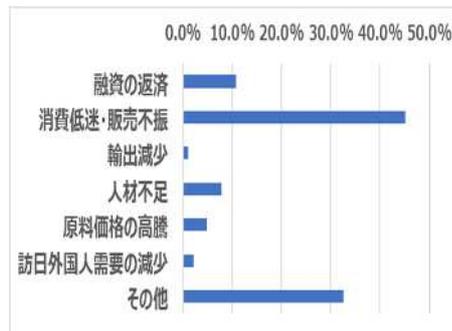
上位 5 位を掲載



「取引先からの受注減」(43.3%)や「来客数の減少等」(15.0%)など、需要減少による影響が顕著に見られた。

経営上の不安（複数回答）

融資の返済	89 件	10.8%
消費低迷・販売不振	373 件	45.1%
輸出減少	8 件	1.0%
人材不足	64 件	7.7%
原料価格の高騰	40 件	4.8%
訪日外国人需要の減少	17 件	2.1%
その他	269 件	32.5%
合計	860 件	104.0%

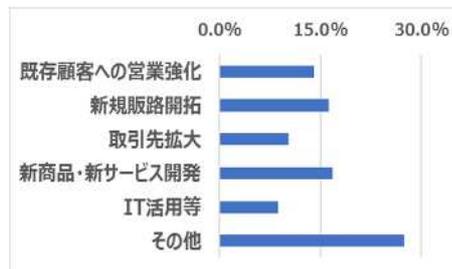


「消費低迷・販売不振」(45.1%)が最も多く、次いで、「融資の返済」(10.8%)、「人材不足」(7.7%)となっている。

今後の取り組み（複数回答）

新商品・新サービス開発	139 件	16.8%
新規販路開拓	134 件	16.2%
既存顧客への営業強化	116 件	14.0%
取引先拡大	85 件	10.3%
IT活用等	72 件	8.7%

上位 5 位を掲載



「新商品・新サービス開発」(16.8%)や「IT活用等」(8.7%)など、新たな取り組みを検討しているという意見も見られた。

～ お気軽にご相談ください～

すみだビジネスサポートセンターでは、様々な経営課題・技術課題をサポートしています
解決のヒントと実現を事業者のみなさまと一緒に考えます

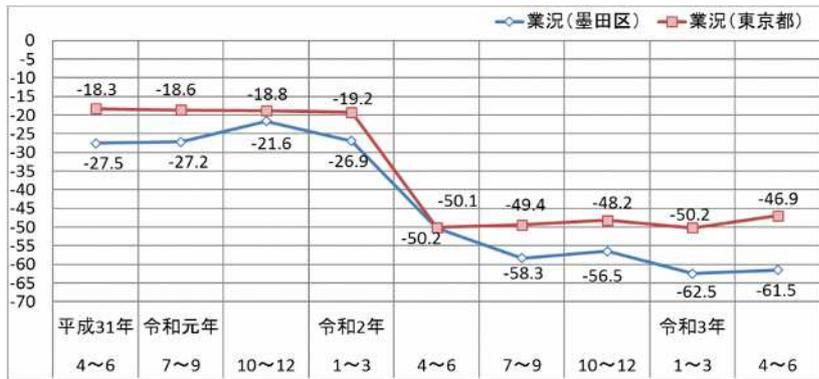
住 所：墨田区吾妻橋 1-23-20（墨田区役所 1 階）

電 話：03-5608-6360

本調査の結果は、墨田区HPに掲載しています。詳しくはこちら



小売業

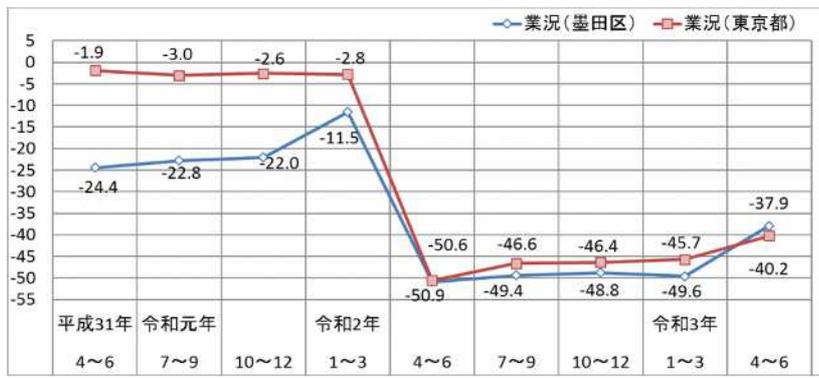


業況は 6.0 ポイント減の-62.5 と厳しさを強めた。

売上額は 8.0 ポイント減の-64.3、収益は 5.4 ポイント減の-58.9 とともに厳しさを強めた。

販売価格は 4.6 ポイント減の-15.8 と下降傾向を強め、仕入価格は 0.9 ポイント減の-2.8 と前期並みであった。

サービス業

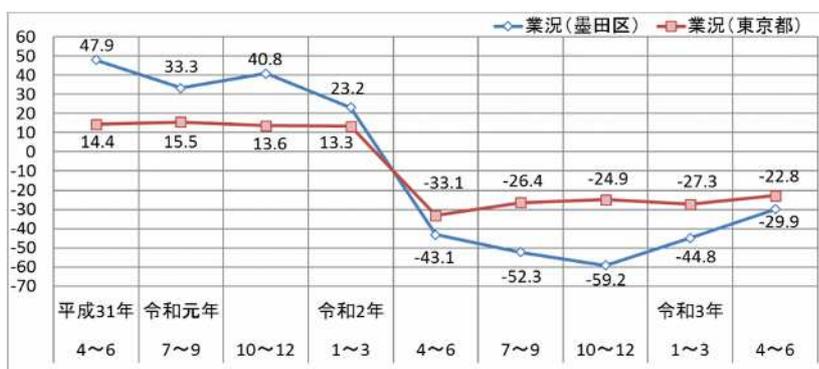


業況は 0.8 ポイント減の-49.6 と前期並みであった。

売上額は 22.4 ポイント減の-66.8、収益は 13.9 ポイント減の-60.1 と厳しさを大きく強めた。

料金価格は 12.9 ポイント増の 11.3 と上昇に転じ、材料価格は 21.4 ポイント増の 27.0 と上昇傾向を大きく強めた。

建設業

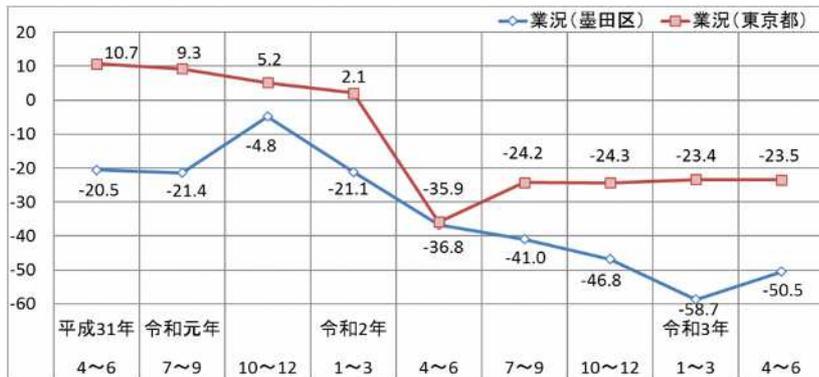


業況は 14.4 ポイント増の-44.8 と改善した。

売上額は 22.3 ポイント減の-41.9 と厳しさを大きく強め、収益は 4.8 ポイント増の-24.7 と改善傾向が見られた。

請負価格は 27.0 ポイント増の 16.6、材料価格は 7.2 ポイント増の 5.1 とともに上昇に転じた。

不動産業



業況は 11.9 ポイント減の-58.7 と厳しさを強めた。

売上額は 14.4 ポイント減の-56.7、収益は 7.4 ポイント減の-50.4 とともに厳しさを大きく強めた。

販売価格は 1.3 ポイント増の-6.3、仕入価格は 3.5 ポイント増の-1.0 と下降傾向を若干弱めた。

【区内事業者の皆様へ】採用実現に向けたPRのお手伝いをします！

「優秀な人材を採用したいけど、自社PRの方法がわからない・・・」

そんな悩みをお持ちの区内事業者を対象に、会社説明会の資料等の作成のお手伝いをします。ぜひ、お申し込みください！

なお、当該事業を希望される場合は、令和3年9月から4回にわたり開催予定の「すみだ合同企業説明会」への参加が必要です。申込みの開始時期などの詳細が知りたい方は、以下の問合せ先までお電話ください。

<対象> 令和3年度すみだ合同企業説明会に参加申込をいただいた区内中小企業または個人事業主の方

<支援内容> 会社説明会資料または求人票の作成支援

<問合せ> 墨田区産業観光部経営支援課

03-5608-6185 (直通)



事業内容の詳細
はこちら(区HP)